

災害時における避難所での情報提供やコミュニケーションについて

1 現状

災害時、避難所では下記ツールを使用して外国人への情報提供やコミュニケーションを取ることを予定しています。

(1) 翻訳ツール

VoiceTra、Google 翻訳

(2) 指さしで意思を伝えるツール

コミュニケーション支援ボード（豊田市作成）

(3) 避難所の表示の多言語化

自治体国際交流協会（CLAIR）災害時多言語表示シート

2 想定される避難所での課題

(1) 言語や習慣の違いにより情報が伝わらない・理解されない

(2) 避難所運営者等がツールの使い方が分からない

(3) トラブルが起きた時に対応できる人員や物資が足りない

3 委員へお伺いしたいこと

(1) 使用予定ツールへの意見

(2) 委員の所属機関において災害時の外国人対応は予定されているか。

（安否確認等）

(3) 災害時に外国人市民へ情報を届けたい時に、委員の所属機関でご協力いただけることはあるか。

(4) 現在関わっている外国人（日本語教室学習者、従業員、留学生等）は防災マップや避難所があることを知っているか。また、効果的な周知方法はあるか。